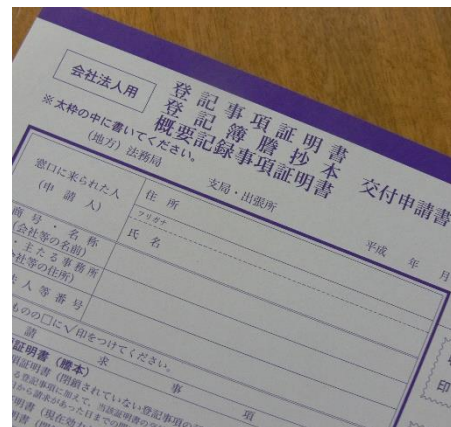


## 特集：起業

### 【起業】

労働情報コーナーには、労働法に関すること以外にも皆様に役立つ資料を揃えています。そのひとつに仕事で培った技能を社会で活かし、会社を興そうとする人を応援する資料です。

まずは、法律の面などで、起業する前に押えておくこと。次に事業が軌道に乗り、社員を増やす時の就業規則の作り方。さらに大きな組織になると起こりえる、メンタル面への対応を紹介します。



### 【書籍の紹介】

#### ★起業する前に読む本 —志ある仕事のための実践知— 橋本 忠夫

芙蓉書房出版 (2019.2) 335/274

飲料メーカー入社の後、取締役まで務めた著者が、法人（企業）経営の28の実践知を示しながら、起業への心構えを紹介します。経営者自らの経験により得た実践知を重ね合わせ、経営美学として深化させ「他人と同じことはしない」という、起業家精神を述べています。現代における企業は、自己実現と社会貢献を両立させるにふさわしい仕事を見つけることです。「アイデア+構想力豊かな事業プラン+志ある人物」の起業支援事業を行っている公益財団法人の取組みを紹介します。

#### ★入門起業の科学 田所 雅之 日経BP社 (2019.3) 335/272

起業・新規事業の失敗と成功を分けるのは、目の前に現れるいくつかのハードルを乗り越えられるか否かです。成功に至るまでのプロセスは長いのですが、そこには「型」があり、その「型」を知れば失敗は潰せます。成功に向けた「型」を、4ステップ39のチェックポイントで示します。長い道のりを、最初に概観して、その過程で起きた問題への対処を解説しながら、不安な状況下に置いて救いの手を差し伸べる優れた情報源の探し方を述べます。

#### ★法律・お金・経営のプロが教える女性のための「起業の教科書」

豊増 さくら 【編著】 日本実業出版社 (2018.11) 335/273

好きなこと、得意なことを、ビジネスにしたいと思ったことはありませんか？ ビジネスの定義はいろいろありますが、「お金をもらうこと、利益が出ること、継続して行うこと」を基本として考えます。しかし、どうしたらそれを実現できるのでしょうか。起業を思い立って、何から始めるかわからず、戸惑う人に向けて、中小企業診断士でもある著者が、税理士、弁護士、行政書士、社会保険労務士、司法書士などの専門家のアドバイスや女性起業家たちの事例を紹介します。



## ★起業のステージアップ術 —経験ゼロから長く続ける— マツド アケミ

同文館出版 (2019.3) 335/271

外資系企業の秘書から雑貨店、バイヤー、ショップコーディネータを経験し、起業して20年もの実績を積んできた著者が、コンサルタントの仕事を通して培ってきた「好きなこと」を続けることでの、壁の乗り越え方を語ります。好きな仕事を選んで長く続けるうちでも、壁は出てきます。数々の壁を乗り越えて、ブランディング塾の講師を務める中、ビジネスとして乗り越えなければならない壁を多く経験することで、己の力となっていく。「続ける」という意志の強さの大事なことを紹介します。

## ★起業の法務マネジメント —経営者・スタートアップのための— 大城 章顕

日本実業出版社 (2020.2) 335/275

多くのスタートアップ企業の法務に携わってきた弁護士が、企業の出会う法的トラブルの対応について解説します。経営者の多くは、法務の必要性を理解しているものの、日々の業務に押し流されて、法的トラブルになるまで手を打たないことが多くあります。企業にとって、どのようなトラブルが予想されるのか、起業の段階でステージごとに紹介し解説します。なぜ法務マネジメントが必要なのか、設立する際の法務マネジメントほか。

## ★就業規則モデル条文 —上手なつくり方、運用の仕方— 第4版

中山 慈夫 経団連出版 (2019.7) 366.33/60/3

起業を始め事業が軌道に乗り、新たに人を雇用する時に必要なのが、就業の様々な約束を定めた「就業規則」です。就業規則は、企業の人事制度及び従業員の待遇に関する基本文書です。特に正社員の労働条件は、主に就業規則により決定させるのが現状です。ここでは、企業実務の立場から、就業規則の作成手続きと効力に関するルールを解説し、必要不可欠となるモデル条文例を掲げ、その意味と労働法令上の根拠と職場でよくあるトラブルの例示も紹介します。

## ★中小企業のためのトラブルリスクと対応策 Q&A ALG & Associates

家永 勲【編】 労働調査会 (2019.12) 335.35/223

中小企業では、法務に特化した人材を置くことは、財政的にも厳しいものがあります。しかし、中小企業であってもトラブルからは逃れられません。そのため、予防治務的な課題に偏ることなく、弁護士事務所として実際に相談を受けた課題なども含めて、多くの設問を解説します。契約及び契約の不履行、顧客及び取引先とのトラブル、知的財産、景品広告、消費者保護規制など8章で107の設問に答えます。

## ★職場のストレスチェック実践ハンドブック 中島 明子・長谷川 崇 創元社(2016.1) 498.3/114

労働安全衛生法が改正され、従業員の「ストレスチェック制度」が施行されています。これは、従業員の心理的な負担（ストレス）の程度を把握し、自己管理や職場環境の改善に繋げ、うつ病等メンタルヘルス不調の未然防止策の強化を目指すものです。この本では、企業の経営者や人事総務責任者に向けた「ストレスチェック制度」の導入・実践方法について、厚生労働省の実施マニュアルに基づいて解説します。

## ★管理職のためのハラスメント予防&対応ブック —トラブルを防ぐポイントを、まんがとイラストでわかりやすく—

向井 蘭 ダイヤモンド社 (2020.3) 366.9/630

ソーシャルメディアでパワハラやセクハラが拡散されるようになり、ある日突然、会社が深刻なダメージを受けるといったケースが増えています。管理職は、パワハラやセクハラと問題視されることを恐れて、十分な指導ができないとの声も聞こえます。どうしたら、トラブルにならず適切な指導ができるのかをマンガ等で解説します。